

IV 「第2次伊達すこやか親子21」の計画

3つの領域についてはそれぞれ基本目標をたて、そのための主な取り組みは関係機関や団体からの意見等を参考に検討しました。継続事業についてはより充実、強化させることとしました。（・は事業名、*は関係機関）

1. 妊娠・出産期

○基本目標：安心して妊娠、出産ができる

【評価指標】

◎ベースラインは平成26・27年度の実績より

指標名	ベースライン	中間評価目標	最終評価目標
妊娠11週以下での妊娠届出率	92.4%	95%	95%
マタニティ教室に満足した人の割合	91.8%	93%	93%
3食食べている妊婦の割合	78%	85%	90%
妊婦の喫煙率	8.1%	5%	3.8%

主な取り組み	具体的内容
母子健康手帳交付時の相談体制の充実	妊娠早期の母子健康手帳の交付に努める。 交付時に妊婦の状況などを的確に把握し、必要な保健指導、栄養相談を行う。 ・母子健康手帳交付
マタニティ教室の充実	仲間づくりができるように支援する。 父、母としての心構えを学び、協力しながら出産、育児に望むことができるよう支援する。 出産や子育てのイメージが持てるよう支援する。 育児協力についての理解を深める。 妊娠期の歯科保健の理解を深める。 ・マタニティ教室
食育の推進	妊娠期の食について理解を深める講座を開催する。 ・(新)プレママヘルシーメニュー講座
禁煙禁酒指導	禁煙禁酒指導を強化する。 ・母子健康手帳交付 ・マタニティ教室
地域への働きかけ	マタニティマークを普及する。 家族の協力、育児参加の推進を図る。 ・広報 ・マタニティ教室
ハイリスク者への支援体制の充実	継続した支援が必要な方に適切な支援ができるよう医療機関との連携を密にする。
児童虐待の予防、早期発見	関係機関との連携を密にする。 *室蘭児童相談所、児童家庭課、医療機関

2. 子育て期

○基本目標：安心して子育てができる

子どもが順調に成長、発達できる

【評価指標】

指標名		ベースライン	中間評価目標	最終評価目標
育てにくさを感じたときに対処できる親の割合 ※2	4ヵ月	82%	85%	90%
	1歳6ヵ月	65%	75%	85%
	3歳	67%	75%	85%
子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合 ※2	4ヵ月	95%	現状維持	現状維持
	1歳6ヵ月	94%	現状維持	現状維持
	3歳	80%	85%	90%
う歯のない3歳児の割合		83.3%	85%	90%
1歳6ヵ月までに四種混合・麻しん・風しんの予防接種を終了している者の割合	四種混合	97.1%	現状維持	現状維持
	麻しん 風しん	97.1%	現状維持	現状維持

※2：国の指標より

主な取り組み	具体的内容
新生児訪問の実施	<p>新生児訪問で養育環境を把握し、子育てへの不安の解消ができるよう支援する。</p> <p>産後うつの早期対応を行う。</p> <p>必要な人に継続支援ができる体制の充実を図る。</p> <p>新生児支援システムでの連携の強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児訪問 ・新生児支援システム連絡票
安心できる健診や相談体制の充実	<p>成長発達の段階に合わせた情報を提供し、保護者の育児の大変さに寄り添い、育児不安の解消を図る。</p> <p>必要に応じて専門家の相談を受けることができる体制を作る。</p> <p>ハイリスク者へのスムーズな支援ができるよう体制整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診（4ヵ月児、7ヵ月児、1歳6ヵ月児、3歳児健康診査） ・1歳児相談 ・2歳児相談

<p>育てにくさを感じている母への支援の充実</p>	<p>乳児期前半のかかわりを深めるための支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(新) スキンシップ教室 <p>母子の愛着を深める支援の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援 ・ふれあい教室 <p>相談窓口を周知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの配布 <p>発達について学ぶ講座を関係機関と共に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(新) 育児講座 ・ふれあい教室 <p>発達支援が必要なケースがスムーズに療育につながるよう関係機関との連携を強化する。</p> <p>* あいあいルーム、太陽の園発達診療室、幼稚園、保育所、児童相談所</p>
<p>父親の育児協力の推進</p>	<p>父親の育児参加を促す取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの配布 ・講座 <p>* 子育て支援センター</p>
<p>食育の推進</p>	<p>乳児期、幼児期それぞれのニーズに合わせた栄養教室を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講座 ・幼児食講座 ・親子料理教室
<p>歯科保健の推進</p>	<p>歯科健診、歯磨き相談等を通してう歯の予防を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診（1歳6ヵ月児、3歳児） ・フッ素塗布事業 ・フッ化物洗口（保育所、幼稚園）
<p>(新) 関係者で共通理解のもと支援ができる体制づくり</p>	<p>地域の実情を理解し、母のニーズに沿う支援が展開できるよう、子育て支援の関係者間の検討会議を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(新) 庁内の連携会議を活用
<p>地域の中で子育てを支える体制づくり</p>	<p>子育て支援センターとの連携で事業を行い、身近な場での育児支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児講座 <p>地域の関係者との連携を図る。</p> <p>* 保育所、シルバー人材センター、民生児童委員相談機関や相談事業等の情報提供、紹介を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診、相談 ・リーフレットの配布
<p>児童虐待の予防、早期発見</p>	<p>虐待予防の視点をもって各種健診等を実施する。</p> <p>関係機関との連携を密にする。</p> <p>* 室蘭児童相談所、児童家庭課、保育所、幼稚園、医療機関等</p>

3. 学童・思春期

○基本目標：正しい健康行動を学び実践できる

【評価指標】

指標名		ベースライン	中間評価目標	最終評価目標
性感染症の予防について理解している子ども（中3）の割合		20%	50%	70%
自分を好きな子ども（中3）の割合		13%	上げる	上げる
朝食を欠食する子どもの割合	小5	6.9% ※3	下げる	下げる
	中2	5.9% ※3	下げる	下げる
12歳児（中1）の1人平均う歯の本数		0.97本	減らす	減らす
アルコールの危険性を知っている子ども（中3）の割合		40%	60%	80%
タバコの危険性を知っている子ども（中3）の割合		40%	60%	80%

※3：全国学力・学習状況調査より

主な取り組み	具体的内容
思春期の性教育の実施	正しい知識の普及と自己肯定感を高める健康教育を実施する。 性教育マニュアルに基づいて実施する。 ・性の講座 ・赤ちゃんふれあい体験 思春期懇話会で情報交換や具体的な取り組みの検討を行う。 ・思春期懇話会 *養護教諭、医師、室蘭保健所
食育の推進	年齢に応じて自分で考えることができる講座を実施する。 ・児童クラブ食育教室 ・(新)中学生を対象とした食育活動 ・(新)保護者へ向けての情報発信 学校保健等、関係機関と情報交換を行う。 *栄養教諭、児童クラブ、養護教諭
学校保健との連携の強化	学校保健と連携を図り、生活習慣や歯科保健に関する正しい知識の普及をする事業を検討する。 ・(新)健康教育 ・フッ化物洗口（小学校、中学校） 健康問題に対して気軽に相談できる体制の充実を図る。